



JICA中部

開発教育・国際理解教育支援メニュー

国際理解教育や国際協力、SDGsに関する学びにご関心のある方へ



©JICA/Atsushi Shibuya



©JICA/Atsushi Shibuya



独立行政法人 国際協力機構
Japan International Cooperation Agency



©JICA/Mika Tanimoto



©JICA/Hiromi Nagakura



©JICA/Takeshi Kuno



©JICA/Kensaku Seki

中部のチカラを、世界に。

独立行政法人国際協力機構（JICA）は政府開発援助（ODA）の実施機関として、開発途上国への協力事業を実施しており、全世界に約100カ所の海外拠点の他、15の国内拠点を有しています。

国内拠点のひとつである中部センター（以下「JICA中部」）は、東海4県（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県）におけるJICA事業の総合窓口として、各地方自治体や国際化協会、教育機関、NGO／NPO、市民団体、民間企業などと連携し、開発途上国のさまざまな課題を解決するために、中部地域発の国際協力を行っています。また地域の人々の国際協力、JICA事業への理解と参加を促進しながら、技術研修員の受入事業、民間連携事業／中小企業海外展開支援事業、JICA海外協力隊派遣事業、草の根技術協力事業、開発教育・国際理解教育支援、国際協力・国際交流イベントなどを実施しています。

世界のあすを考えるために。

海外と国内の双方に現場を有するJICAは、日本社会への開発途上国での「知見の還元」と、世界の現状と課題について「考える機会の提供」を目的に、開発教育支援事業を実施しています。世界、そして日本が、より平和で豊かな持続可能な未来を築くために、「身近なことから海外のことまで現状と課題を知り、解決策を考え、自ら行動する主体性を育むための教育＝開発教育・国際理解教育」の実践者を支援するため、JICA中部はさまざまな開発教育支援メニューを用意しています。どうぞ積極にご活用ください。

JICAって？

「信頼で世界をつなぐ」を合言葉に、国際協力を行う日本の政府機関です。

開発途上国の課題解決に協力し、SDGsに貢献しています。



開発途上国に協力できる
知識や技術を持った人がいます。



開発途上国と日本をむすぶ
架け橋となって働いています。



世界人口の8割の人が
さまざまな課題を抱えています。

SDGs達成に向けたJICAの取り組み



食料増産

2.3倍

人口増加に伴いコメの消費量が急増しているアフリカ。JICAは日本の稲作技術を活かした協力を実施し、サブサハラ・アフリカにおけるコメの生産量を倍増させた。



母子手帳

2,200万冊

戦後日本で作られた母子手帳。各国の実情に見合った形に改良され、年間2,200万冊が発行されている（2020年JICA推計）。JICAは、世界の母子の命と健康を守るため母子手帳の導入・普及を支援している。



学びの改善

70,000校

学校、保護者、地域社会と協働して子どもの学習環境を改善するJICAの「みんなの学校」プロジェクト。アフリカ9か国で約7万校を対象に展開し（2022年時点）、子どもの基礎学力を飛躍的に向上させています。



安全な水への
アクセス

8,400万人

新型コロナウイルスなどの感染症対策にも欠かせない「安全な水」。安全な水を持続的に供給するために、計画策定・事業運営などの能力強化（ソフト）とインフラ整備（ハード）の両面で協力している。



防災

83,000戸

2015年のネパール地震後に緊急住宅復興事業を通じて再建した住宅戸数（2015-2019年度）。「より良い復興（Build Back Better）」の実現に貢献しています。



JICA
海外協力隊

57,195人

JICA海外協力隊の累計派遣人数（1965-2024年11月末）。JICAは、開発途上国からの要請に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持った人を世界各地に派遣している。

世界の今を知る

なごや地球ひろば 訪問プログラム



なごや地球ひろばの「体験ゾーン」では、世界の課題やSDGs、国際協力についての写真・映像・実物資料・造形などを交えて展示しています。見て・聞いて・触れて体験できる展示を通し、世界や開発途上国について理解を深めることができます。地球規模の課題や多様な文化、世界と日本、世界と中部地域のつながりを学び、一人ひとりにできることを考えましょう！

訪問プログラムでは、ガイドの「地球案内人」がなごや地球ひろばをご案内します。体験ゾーンの見学の他、JICA事業紹介、国際協力体験談、カフェ クロスロードでの昼食や、開発途上国の学校給食体験などの内容を組み合わせて、ご要望に応じたさまざまなプログラムのアレンジも可能です。

活用法

総合的な学習の時間
キャリア教育
グローバル教育
教員研修
PTA研修など

●申込み方法

次頁の申込書にて見学希望日の1ヵ月前までにファックスまたはメールで「JICA中部なごや地球ひろば」までお申込みください。受け付け後、対応の可否についてご連絡いたします。

●事前・事後学習

8ページをご覧ください。

●実施日

通年（休館日（月曜日、年末年始）を除く）

●人数

最大受入人数100名まで対応可能です。
※100名以上の場合はご相談ください。
※最大受入人数は変動する可能性があります。

施設・プログラム詳細（動画）



訪問プログラム(例)

※ご希望のお時間や、参加者に応じプログラム内容の調整も可能です。まずはご相談ください。

所要時間 2時間

対象／小学生以上
人数／1グループ30人程度

国際協力・JICAについて

国際協力って何？

〔所要時間約30分間〕

「国際協力って何のこと？」「政府開発援助（ODA）って？」「JICAはどんな国にどんな協力をしているの？」など、国際協力の基本を地球案内人がご紹介。

体験ゾーン探検

地球にはいま、
どんな課題があるの？

〔所要時間約40分間〕

地球案内人のガイドで体験ゾーンの見学をします。展示案内を通して、世界にある課題を学びます。（ワークシート付き）

国際協力体験談

開発途上国の人は、
どんな暮らしをしているの？

〔所要時間約50分間〕

国際協力の経験者が途上国での体験をお話します。日本とは違う文化や暮らしを知り、世界の国々の多様性、国際協力の重要性を楽しく学びます。

知って、食べて、買って国際協力！



世界の食文化が体験できる

レストラン
カフェ クロスロード



途上国の給食が体験できる

ウガンダ
給食プログラム



お買い物を通じた
身近な国際協力ができる

フェアトレード
ショップ

参加者の感想

なごや地球ひろばへ来てみて、SDGs*のことを初めて知りました。国際協力は大きなことだけではなく、助け合いやあいさつなど、身の周りのことから続けられそうなのがたくさんあるとわかりました。小さなことでも自分がやれば、世界を変えられることを知り、何かやってみたくなりました。（小学生児童）

*SDGs:Sustainable Development Goals
（持続可能な開発目標）



詳しくはウェブサイトにて なごや地球ひろば 訪問プログラム



なごや地球ひろば訪問プログラム申込書

JICA中部 なごや地球ひろば 行

(FAX: 052-564-3751)

<https://www.jica.go.jp/nagoya-hiroba/information/school/reserve/index.html>

*申込書は上記URLからも取り寄せができます。

一 連 絡 先	団体名・参加者名			担当者名	(学校で申し込みをされる場合は担任の先生のお名前)	
	住所(所属先)	〒 -				
	電話(所属先)	() -	FAX(所属先)	() -		
	e-mail	@ 所属先 個人				
訪 問 に つ い て	訪問者内訳	訪問者: ()年生 ()名 引率者: ☐ いない ☐ いる ()名				
	希望日時	年 月 日 () ☐ 10:00-12:00 ☐ 13:30-15:30 ☐ その他・相談				
	訪問目的 複数回答可	☐ 国際協力・JICAについて(約20分間) ☐ その他(ご希望があればご記入ください) ☐ 体験ゾーン見学(約40分間) ☐ 海外ボランティア体験談(約50分間)				
	その他	食事: ☐ なし ☐ 弁当持参 ☐ カフェ クロスロードのデリバリー利用※ ☐ ウガンダ給食※ ※訪問プログラムの日時確定後に、カフェ クロスロードへのご予約をお願いいたします。 来所方法: ☐ 公共交通機関 ☐ バス ()台(大型・中型) ☐ その他 写真撮影: ☐ 可 ☐ 不可 ウェブサイト掲載: ☐ 可 ☐ 不可 過去に訪問プログラムを受けたことはありますか: ☐ 無い ☐ 有る ()回目				
	回答期限	年 月 日 () 時頃までに回答希望 連絡可能な時間帯:				
	訪問の経緯	☐ ホームページで知った ☐ JICAのイベント ☐ 同僚・知人の紹介 ☐ JICAからの各種案内 ☐ その他 ()				
	訪問の目的	☐ 国際協力について知る ☐ 途上国/国際理解 ☐ キャリア教育 ☐ 職場体験 ☐ その他 ()				
	事前学習	☐ 国際協力体験談(☐ JICA ☐ その他) ☐ 課題学習 ☐ 他機関訪問(訪問先:) ☐ その他 ()				
	申込添付書類 (任意)	①訪問にあたり質問したいこと ②訪問にあたり事前に学習したこと、またはこれから実施予定の学習について ③開発教育・国際理解教育への取り組み(内容、ねらい、学校指導案、年間スケジュール等) 以上を記した文書を添付して下さい。形式は問いません。				
行事計画 (任意)	ねらい、年間計画における本行事の位置づけ、事後の取り組みなど					
今後JICA中部なごや地球ひろばより、各種イベント・セミナー等のご案内をさせていただくことがあります。 受け取りを希望されない場合はチェックを入れてください。 ☐ イベント・セミナー等のご案内を希望しない						

※当施設・スタッフの関係上ご希望に添えないことがある旨予めご了承下さい。

内部事務処理欄

承認印	受領	教室	担当講師	機材	報告書	予定表入力



体験談を聞く

国際協力出前講座



JICA海外協力隊や専門家経験者、JICA職員等を講師として派遣します。現地での活動体験や、国際協力、開発途上国について聞いて学べる人気のプログラムです。

●申込み方法

次頁の申込書に必要事項をご記入の上、13ページに記載の各県担当まで、講座希望日の1ヵ月前までにファックスまたはEメールでお申し込みください。なお、講師決定までには少々お時間をいただくことがありますので、ご了承ください。

※講師派遣については、1回の実施につき原則1名とさせていただきます。また、講師選定の関係上、ご依頼に添えないことがある旨、予めご了承ください。

●対象

学校、地方公共団体、民間の国際交流団体など

●費用

講師の謝金・交通費につきましては、原則としてお申し込み団体のご負担をお願いします。

謝金については、学校や自治体における講師謝金単価基準がある場合は、そちらに基づきご相談ください。単価基準がない場合は、目安としては一人当たり一時間4,600円（JICA規定に基づく）です。

●事前・事後学習

8ページをご覧ください。



詳しくはウェブサイトにて

JICA中部 出前講座



講座内容(例)

所要時間
1時間

人数／40人程度

講師自己紹介・
国の紹介

【所要時間約10分間】

JICA海外協力隊
活動体験談

【所要時間約40分間】

まとめ・
質疑応答

【所要時間約10分間】

JICA海外協力隊とは？

国際協力の志を持った方々を開発途上国に派遣し、現地の人々とともに生活し、異なる文化・習慣に溶け込みながら、草の根レベルで開発途上国が抱える課題の解決に貢献しています。なかでも青年海外協力隊は、事業発足から50年以上の長い歴史をもち、これまでにのべ5万人を超える方々が参加しています。応募できるのは、20～69歳の方で、日本国籍を持つ方です。自分の持っている知識、技術、経験などを生かせるのが特徴です。派遣期間は原則2年ですが、1ヵ月から参加できる短期ボランティア制度もあります。

先生の感想

現地の自然、衣食住にわたる人々の生活の様子、青年海外協力隊として活動した内容等興味深く聞かせて頂きました。遠い国であっても日本との関わりを知り、自分自身の勉強にもなりました。また生徒達のどよめきや笑いなど普段見られない反応も新鮮でした。（中学教諭）



詳しくはウェブサイトにて

JICA海外協力隊



独立行政法人国際協力機構（JICA）
中部センター所長 宛

JICA 国際協力出前講座 講師紹介要請書

以下のとおり、講師の紹介を要請します。

なお、出前講座の実施に関して、児童・生徒等の参加者が負傷する等の損害が発生したときは、JICA 又は講師の故意又は重大な過失による場合を除き JICA 及び講師は責任を負わないものとし、当方（要請元）の責任において解決することに同意します。

学校・団体名			
代表者	【役職名： 】		
担当者	【役職名： 】		
住所・連絡先 ※講師決定後の回答書類はメールにて返信します。	〒		
	TEL:	FAX:	
	E-mail:		
講座開催日	年 月 日 ()		
講座時間	時 分～ 時 分 うち実質講師講演時間: 時 分～ 時 分		
講師集合時間・場所	時間:	場所:	
対象者・人数	学年・職業等:	人数:	
開催場所	会場名:		
	☐ 教室 ☐ 体育館 ☐ ホール ☐ その他〔 〕		
会場住所 ※要請元と異なる場合	交通手段: 最寄駅・バス停名〔 〕から 分 路線:		
使用可能な機材	☐ パソコン(パワーポイント使用可)〔USB の利用 ☐ 可 ☐ 不可〕 ☐ マイク ☐ プロジェクター・スクリーン ☐ 黒板・ホワイトボード ☐ 世界地図 ☐ その他〔 〕		
講師への支払い	講師謝金: _____ 円 交通費: ☐ 支給有り 上限 _____ 円 ☐ 支給無し 源泉徴収分の差し引き ☐ あり ☐ なし 支払方法 ☐ 口座振込み ☐ 当日手渡し		

※環境に配慮しペーパーレスに取り組んでおります。メール添付の形でのお申込みにご協力ください。



より良い学習のために

事前・事後学習の例

なごや地球ひろば訪問プログラムや国際協力出前講座の学習効果をより高めるために事前事後学習をおすすめします。

事前学習

■ねらい

世界について関心をもつ
世界の課題に気付く
疑問をもつ

プログラム実施

■ねらい

世界の現状を知る
世界の中の自分に気付く
自分の可能性に気付く

事後学習

■ねらい

伝える力を高める
行動する力を高める
学ぶ意欲を高める

世界を学ぶ

教材の提供・閲覧

JICA中部では、開発教育・国際理解教育に関する教材・資料を提供・閲覧することができます。
学校現場などですぐにお使いいただけますので、ぜひご活用ください。



日本と世界のつながりを知る教材

「つながる世界と日本」



日本と途上国とが密接につながっていることがわかるクイズ付きの冊子です。国際協力の必要性が自分たちの生活からも見えてきます。

すぐに使える! 教員用資料集

「国際理解教育実践資料集」



小学校・中学校・高校の先生向けに世界に依存している課題について、その問題のポイントや子どもたちに知ってほしい内容をわかりやすく解説しています。

SDGs×国際協力を知る教材

「共につくる私たちの世界」



SDGsの基本を、日本の国際協力や各国の子どもたちの紹介を交えて学べる教材です。



データダウンロードはこちらから

送付をご希望の場合はJICA中部までご連絡ください。



JICA地球ひろば 先生・生徒のお役立ちサイト

映像教材、冊子教材、広報誌の他、国際理解教育の実践事例や学習指導案もご覧いただけます。

応募する

JICA国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト

開発途上国の現状と国際協力の必要性について理解を深め、国際社会の中で日本は何をすべきか、また自分たちひとりひとりがどう行動すべきかについて考えてもらうことを目的としたコンテストです。全国の中学生・高校生を対象に毎年開催しています。学校教育の中で国際協力を考えるきっかけ作りとしてぜひご活用ください。

■募集期間 毎年6月～9月頃 ■対象 全国の中学生・高校生 ※詳しくは、JICAウェブサイトをご覧ください。

授業に役立てる

開発教育指導者研修(初級編・実践編)

開発教育指導者研修(初級編)

開発教育・国際理解教育を授業等で実践することを目的として、参加型学習の体験・実演、国際理解教育の概要説明などを各県で行なっています。

●日程・会場・研修内容・応募方法など

各県のJICAデスクまでお問い合わせください。

●対象

開発教育・国際理解教育に関心のある教員、教育委員会職員、自治体職員、NGO／NPO関係者、JICA海外協力隊経験者等



〈過去の実施例〉

愛知県：愛知県開発教育指導者研修(初級編)(3月@JICA中部)

岐阜県：国際理解教育講座(8月@岐阜県総合教育センター)

三重県：実際に学ぶ国際理解教育研修～多文化共生の視点から～(8月@三重県総合教育センター)

静岡県：国際理解教育ファシリテーター養成リレー講座(9月～12月@クリエート浜松)

※本年度の開催については、各県JICAデスクまでお問い合わせください。

開発教育指導者研修(実践編)

ワークショップの体験、実演、プログラム構築の手法などを学び、実際に開発教育・国際理解教育を授業で実践できるような指導者育成のための研修です。

●日程 年4回(各回2日間の合計8日間)

本研修は年間を通じた連続講座となっております。詳しい日程や内容等は、募集要項(3～4月配布開始)をご覧ください。

●会場 JICA中部

●対象 約40名

開発教育・国際理解教育に積極的に取り組んでいる中部4県の教育、教育委員会職員、自治体職員、NGO／NPO関係者、JICA海外協力隊経験者等

●応募方法 JICA中部までお問い合わせください。



現場をみる

教師海外研修

開発教育・国際理解教育に取り組まれる教師の皆様が、実際に開発途上国を訪問することにより、開発途上国が置かれている現状や国際協力の現場、開発途上国と日本との関係に対する理解を深めていただき、帰国後は訪問によって得た成果を活用し、学校現場での授業実践等を通じて、次代を担う児童・生徒の教育に役立てていただくことを目的として実施しています。また、本研修終了後も、教育現場で開発教育・国際理解教育に取り組む中核人材として活躍いただくこともねらいとしています。実施時期、研修派遣先、募集方法等に関しては、募集要項(3～4月配布予定)をご覧ください。



開発教育・国際理解教育 実践報告フォーラムとは？

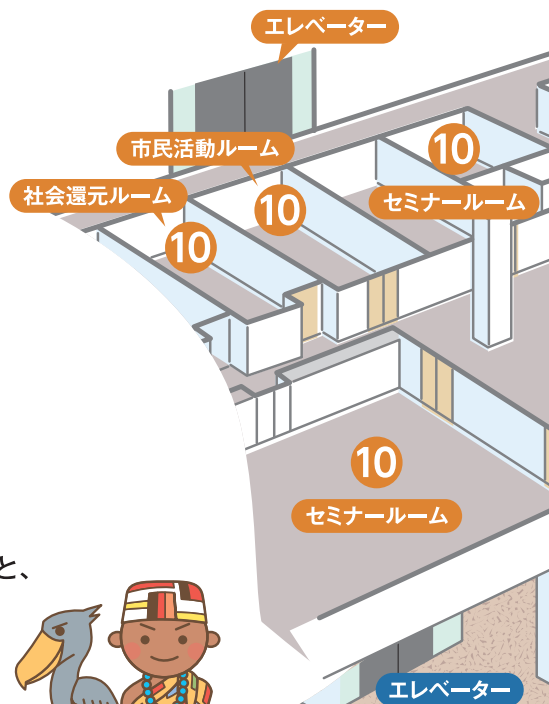


開発教育指導者研修(実践編)および教師海外研修受講者による、1年間の研修成果と実践を一般の方に向けて参加型で共有する報告会です。持ち帰ってすぐに実践に生かすことができる開発教育・国際理解教育の手法が学べ、地域での実践者と交流し、ネットワークができます。ご関心のある方は、どなたでもご参加できます。例年、開発教育指導者研修(実践編)の最終日に実践しています。

詳しい実施時期、参加方法などは
JICA中部までお問い合わせください。



なごや
地球ひろばへ
ようこそ!



なごや地球ひろばの展示は、基本展『SDGs—未来につながる17の約束—』と、
テーマに沿った企画展を交互に開催しています。

9 エスニックレストラン カフェ クロスロード

メキシコやベトナム、南アフリカ料理まで、開発途上国の味が楽しめるグローバルなカフェレストラン。食事を通して、世界の異文化にふれられます。

▶ 営業時間 / 11:30～14:00 (日曜・祝日休業)

※最新の情報はなごや地球ひろばのHPをご確認ください。

▶ 電話番号 / 052-564-3759



世界の料理が
楽しめる

食の
ゾーン



地球案内人が
みなさんをお迎えします。
気軽に声を
かけてくださいね!

地球案内人カウンター

8 フェアトレードショップ

世界各国から仕入れた食品や雑貨などのフェアトレードグッズが購入できます。買い物を通じた、一番身近な国際協力ができる場所です。

▶ 営業時間 / 11:00～18:00 (月・木・第三日曜休業)

※最新の情報はなごや地球ひろばのHPをご確認ください。



はじめの一歩
国際協力

買物
ゾーン

7 2階 写真展コーナー



10 大小セミナールームを備え、参加型イベントやセミナーを随時開催中。外部貸出(有料)、また、地域の活動団体(要登録)が打ち合わせ等で自由に使用できる部屋もあります。



▶開館時間／10:00～18:00(月曜休館)
※最新の情報はなごや地球ひろばのHPをご確認ください。

1 Light & Shadow

バルーンに浮かぶ数字。見つめる先にある希望。世界の光と影を映し出します。

2 Meet the World



3 SDGsナビゲーター



4 Mission Box

ボックスの一つひとつを見て体験することで、世界が抱える課題と国際社会の取り組みが見えてきます。



5 Across the World

世界の多様性、豊かさを体験できるコーナーです。世界の絶景をバックに民族衣装で記念撮影はいかがですか？ 世界遺産パズルもあります。

6 コミュニケーションスペース

地域で開催されるイベントや活動団体の情報を配架しています。浄水自転車体験もこちらで。

お問い合わせ・お申し込み先一覧

JICA中部における開発教育支援メニューのお問い合わせ・お申し込み先は、下記のとおりです。

メニュー		連絡先	
開発教育指導者研修(初級編・実践編) 教師海外研修 教材の提供・閲覧 各メニューの相談窓口		JICA中部 開発教育支援担当	TEL : 052-533-0220 FAX : 052-564-3751
なごや地球ひろば訪問プログラム 国際協力出前講座(愛知県)		なごや地球ひろば	TEL : 052-533-0220 FAX : 052-564-3751 jicacbic-hiroba@jica.go.jp
国際協力出前講座 開発教育指導者研修(初級編)	岐阜デスク	岐阜県国際協力推進員	TEL : 058-263-8069 FAX : 058-263-8067 jicadpd-desk-gifuken@jica.go.jp
	三重デスク	三重県国際協力推進員	TEL : 059-223-8003 FAX : 059-223-5007 jicadpd-desk-mieken@jica.go.jp
	静岡デスク	静岡県国際協力推進員	TEL : 054-202-0931 FAX : 054-202-0932 jicadpd-desk-shizuokaken@jica.go.jp
	浜松デスク	浜松市国際協力推進員	TEL : 080-4806-9601 FAX : 053-458-2197 jica_hamamatsu_desk@jica.go.jp

JICA中部・開発教育ナビゲーター

中部地域4県で開発教育・国際理解教育の豊富な実践経験を持つ先生方がナビゲーターとして、JICA中部と連携し開発教育・国際理解教育の推進を行っています。ご関心のある方、実践内容や方法でお悩みの方、ナビゲーターに相談したいことがある方は、JICA中部開発教育支援担当までご連絡ください。ナビゲーターにお繋ぎいたします。

JICA中部ウェブサイトでも各メニューの詳しい情報をご覧いただけます。

JICA中部 開発教育支援



おすすめ情報

JICA中部メールマガジン「なごや地球ひろば便り」

毎月1回の発行で、さまざまなイベント情報や、中部地域での国際協力ニュースを楽しくお伝えしています。

JICA中部メールマガジン 「なごや地球ひろば便り」の登録はこちらから <https://www.jica.go.jp/chubu/mail/>



独立行政法人 国際協力機構

中部センター

〒453-0872 名古屋市 中村区 平池町4丁目60-7

TEL:052-533-0220 / FAX:052-564-3751

URL:www.jica.go.jp/chubu/

JICA中部・なごや地球ひろば
アクセス案内動画



国を知った。
それだけで、
世界が微笑んだ
気がした。



©JICA/Atsushi Shibuya

世界の今を知る

JICA中部

なごや地球ひろば

2025年3月

リサイクル適性 
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。


VEGETABLE
OIL INK